

環境啓発やエコライフ推進を担当されている皆様

地球温暖化をはじめ、地球環境の問題が非常に深刻であることが次々に明らかになっています。問題の解決に向けて国際的な交渉が進められ、国を挙げての対策も講じられています。市民として、その原因が私たちの社会や生活であることを正面から認識し、環境に配慮した21世紀型の生活スタイルに向けて、いかに梶をとっていくのかが大きな課題となっています。

しかし生活スタイルに関して言えば、個人の自由が尊重される場面であり、エコライフを強制できるものではありません。一方で、単なる情報提供だけでは行動は変わらないものです。行政として目標を立てても、協力を得ることができるのか不確定な部分が大きく、対応が遅れがちな分野となっています。

弊社では、市民が協力しやすい仕組みをつくり、自主的に行動を継続・展開していけるように、数々の工夫を重ねてまいりました。その成果として、エコライフ推進に一定の成果がみえるプログラムを紹介させていただきます。手法のひとつとして、みなさまの事業において参考としていただければ幸いです。

なお、エコライフ推進の手法としては決して完成されたものではなく、さらに多様な展開の可能性が広がっております。みなさまの中でより先進的な挑戦をしてみたいといったお考えがあれば、ぜひ協力させていただきたいと考えております。お声をかけていただければ幸いです。

2004年8月20日
有限会社ひのでやエコライフ研究所
代表取締役 鈴木靖文

プログラム提案メニュー

- | | |
|---------------------------|--------|
| 1. エコライフチャレンジ（環境家計簿）プログラム | 2 ページ |
| 2. インターネット環境家計簿 | 10 ページ |
| 3. 家電製品省エネラベル | 14 ページ |
| 4. 学習会・ワークショッププログラム | 16 ページ |

「家電製品省エネラベル」は、京都市省エネラベル協議会、および八都府市「省エネ型家電拡大キャンペーン」（事務局：東京都）として実施されているものです。弊社はこの事業に協力しています。